

平成 13 年 7 月 31 日 発行

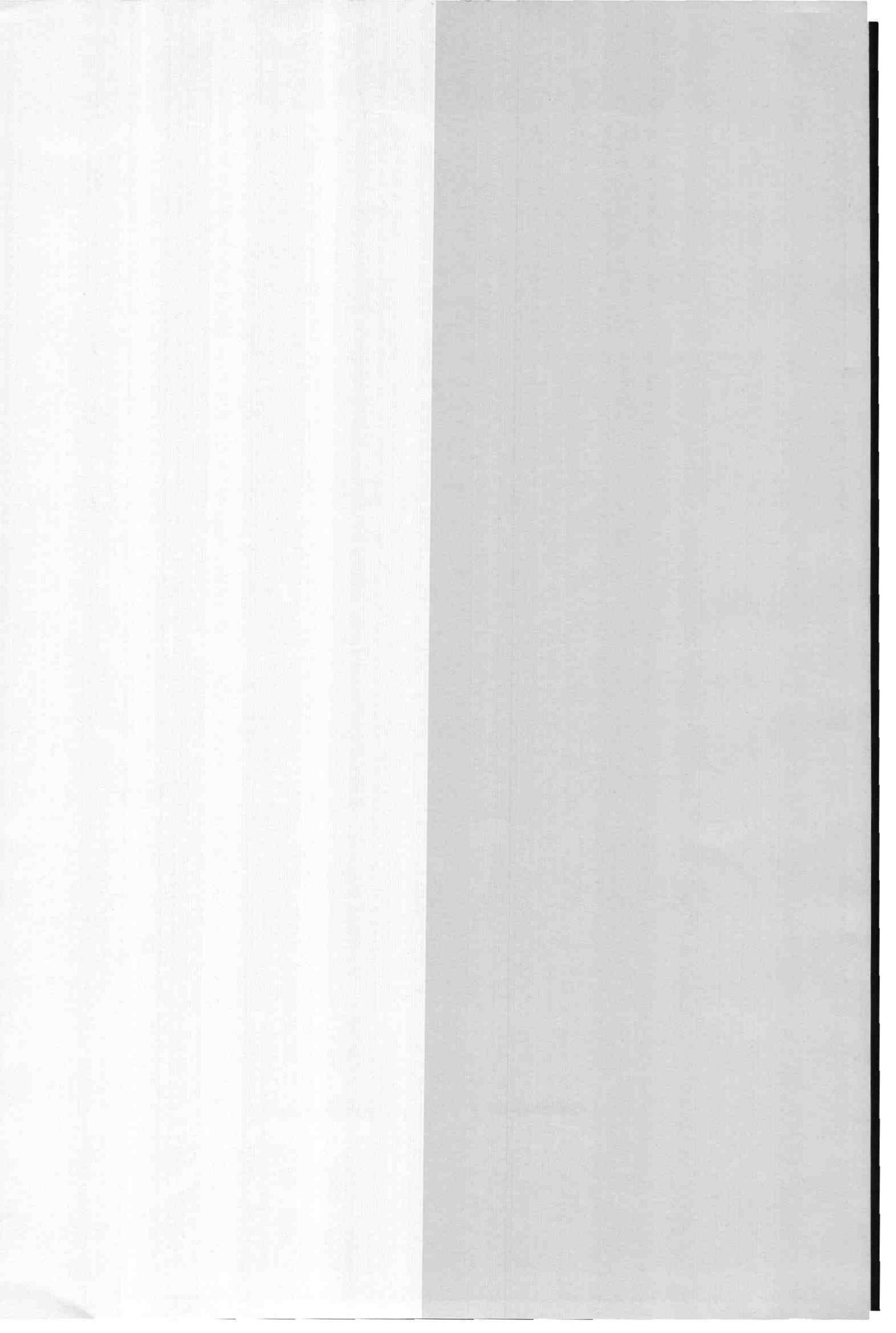
千環協ニュース

主 な 内 容

1. 通常総会
2. 合同委員会
3. 理事会報告
4. 第 33 回千環協ゴルフコンペ
5. 平成 13 年度研修見学会
6. 平成 13 年度新任者教育講座
7. 特集 土壤環境基準及び
水質汚濁防止法における排水基準改正について
8. お知らせ
(日環協関東支部環境セミナー, 千葉県計量検定所ホームページ)
9. 会員名簿

千葉県環境計量協会

Chiba Prefectural
Environmental Measurement Association



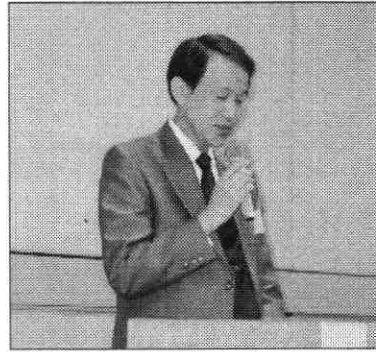
目 次

| | 頁 |
|--|----|
| 1. 通常総会 | |
| 総会挨拶(会長 名取 昭平) | 1 |
| 挨拶(千葉県計量検定所 所長 小野 俊一) | 2 |
| 平成13年度(第25回)通常総会報告 | 3 |
| 平成13年度 事業計画 | 5 |
| 2. 合同委員会 | |
| 平成13年度 合同委員会報告 | |
| 挨拶(千葉県計量検定所 指導課長 岡 和雄) | 6 |
| 担当委員一覧及び委員会別活動計画 | 7 |
| 3. 理事会報告 | 10 |
| 4. 活動レポート 第33回千環協ゴルフコンペ | 11 |
| 「大変な事をしてかしました…」(出光興産(株) 遠藤 正和) | |
| 5. 活動レポート 平成13年度研修見学会 | 12 |
| 第25回 千環協研修見学会を終えて(習和産業(株) 谷口 克則) | |
| 6. 活動レポート 平成13年度新任者教育講座 | 13 |
| 平成13年度新任者教育講座を受講して(桜環境管理センター 伊藤 梓美) | |
| 7. 特集 土壤環境基準及び水質汚濁防止法における排水基準が改正されました… | 14 |
| (中外テクノス 株式会社 後藤 壽久) | |
| 8. お知らせ | |
| 8-1. 日環協 関東支部 環境ヒナ(環境ヒナ in Kamogawa)のお知らせ… | 16 |
| 8-2. 千葉県計量検定所ホームページ | 16 |
| 9. 会員名簿 | 17 |
| 編集後記 | 巻末 |

1. 平成13年度（第25回）通常総会

総会挨拶

会長
名取 昭平



ただ今ご紹介頂きました、当協会の会長を務めさせて頂いております、セイコーアイ・テクノロジーサーチの名取と申します。開会に際しまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、ご来賓として、千葉県計量検定所小野所長様、岡課長様、石渡様のご臨席を賜りまして、厚く御礼申し上げます。また、会員の皆様にも多数お集まり頂きまして、厚く御礼申し上げます。

さて、3月末も無事終了し、新たな年度のスタートと言うことで、ホットされているところではないかと存じます。あいかわらず、政治の混乱で、経済状況も芳しくなく、デフレスパイラルとも言われておりまして、私どものサービス業でも、大きな影響を受けているところでもあります。一層の景気回復が望まれるところであります。

昨年度は、我々を取り巻く環境に、大きな変化がありました。環境計量証明に、極微量物質を扱う計量証明が別立てとなる、という動きであります。経過及び詳細内容につきましては、日本環境測定分析協会のホームページ及び、機関誌であります「環境と測定技術」に記載がありますので、ご覧頂きたいと存じます。いずれにしても、極微量物質の精度確保の点での、社会的ニーズの高まりによるものであり、当協会と致しましても、今後とも会員各位のご協力を得まして、精度確保・分析技術の向上に努めて参りたいと存じます。

その日環協関係では、関東支部の環境セミナーにつきまして、本年は、主担当が千葉で、埼玉のご協力を頂いて開催となります。10月4日～5日に、千葉の鴨川グランドホテルにて開催致しますので、参加並びに測定分析事例発表等、ご協力を頂きたいと存じます。

さて、長いこと当協会の事務局業務を、お引き受け頂いておりました深名さんが、このたび勤務先を退社されることとなり、従いまして当協会も去られることとなりました。会社業務多忙の中、千環協の経理処理、連絡業務、調整業務等々、多大のご迷惑をおかけ致しました。本当に厚く御礼申し上げます。後ほど、ささやかではございますが、多大のご貢献に対しまして、特別表彰をさせて頂きたいと存じます。

それでは、昨年1年間の千環協の活動報告及び決算と、本年1年間の活動計画、予算についてのご審議を、宜しくお願い申し上げます。

挨拶

千葉県商工労働部

計量検定所 所長 小野 俊一



本日は千葉県環境計量協会第25回通常総会が盛大に開催されますこと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃から皆様には、県計量行政に御理解・御協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。

さらに、当協会が昭和51年の創立以来、活発な協会活動を通じて環境計量証明事業の健全な発展に努められておりますことに敬意を表します。

計量制度は、経済産業活動に不可欠な技術的社会基盤として、常に新たなニーズへの対応を迫られており、平成4年に計量法の大改正が実施されその後も逐次政・省令の整備が実施されて来たところです。

そして、現在は、環境問題の高まりや、製造業における生産管理工程の高度化等により、従来の計量制度が想定していなかったレベルの計量計測を伴うごく微量物質の計量ニーズ、特にその計量証明に対するニーズが増大していると聞いています。

従来は、計量法の政令で濃度については、大気、水及び土壌中の濃度に限定されていましたが、この対象外にある製造工程や、血液中、あるいは室内等の物質濃度等多様な分野での計量証明が求められるケースが多くなりつつあり、これらに対応するには、非常に複雑な処理工程と高いレベルの技術力が必要であり、また、事業者の国をまたがる分業体制の進展などの実態に鑑み、国では、計量証明事業者の能力をシステム全体にわたり確認する新たな制度の導入を検討しています。

このように、計量業務の中でも環境に関する部門の拡大が顕著であることは、本日お集まりの皆様の活躍の場がますます拡大していくものと期待されるところです。

地方計量行政を取り巻く環境も、技術の進歩、国際化、規制の緩和等により大きく変化しつつありますが、県計量検定所としましては、正確な計量・計測は安全の確保や生産性の向上に、また、環境保護、消費者保護に不可欠な業務として、皆様のお役に立てるよう努力してまいり所存ですので今後ともよろしくお願い致します。

最後に、千葉県環境計量協会のますますの御発展と会員の御健勝を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

平成13年度（第25回）通常総会報告

千葉県環境計量協会

1. 開催年月日 平成13年4月13日（金）15:00～16:30
2. 場 所 プラザ菜の花
3. 出席会員 31社（委任状16社）計47社
4. 会長挨拶 千葉県環境計量協会 名取 昭平会長
5. 来賓挨拶 千葉県計量検定所 小野 俊一所長
6. 議 事 (1) 第1号議案 平成12年度 事業報告の件
(2) 第2号議案 平成12年度 決算報告の件
会計監査報告
(3) 第3号議案 平成13年度 事業計画（案）
(4) 第4号議案 平成13年度 収支予算（案）
7. 優良事業所表彰 (株)ダイワ
推薦事由：ISO9001取得につき

総会は、キックマン(株)川村敏氏の司会で開催され、出席会員31社、委任状提出16社、合計47社の出席で規約16条により会員数の1/2以上の出席を満たしており、総会は成立するとの宣言がされた。



- (1) 第1号議案及び第2号議案について(株)ダイワ菅谷副会長より説明後、会計監査報告を日建環境テクノス(株)釜本監事より審査報告があり、全会一致で承認された。
- (2) 第3号議案および第4号議案について出光興産(株)千葉製油所岡崎副会長が説明され全会一致で承認された。
- (3) 優良事業所表彰は、理事会において審査の結果、(株)ダイワさんに決定された。
- (4) 特別表彰
当協会の事務局をお受け頂いていた、(株)環境管理センターの深名さんが勤務先を退社され、事務局を去られるに当たり多大の貢献に対し、特別表彰された。
- (5) 4月より新会員になられた興亜開発(株)の中川さんより新会員の挨拶がされた。

平成13年度の役員は、平成12年度役員が留任することに決定された。

会 長：名取昭平氏 セイコーアイ・テクノロジー(株)
副 会 長：岡崎成美氏 出光興産(株)千葉製油所
副 会 長：菅谷光夫氏 (株)ダイワ千葉支店
総務委員長：川村敏氏 キッコーマン(株)
業務委員長：藤谷光男氏 中外テクノス(株)環境技術センター
企画委員長：荒牧寿弘氏 (株)新日化環境エンジニアリング
技術委員長：神野基行氏 (株)住化分析センター
広報委員長：田中孝一氏 (株)環境管理センター
監 事：釜本信弘氏 日建環境テクノス(株)
監 事：福田文二郎氏 川鉄テクノロジー(株)

以上の内容をすべて承認のうえ、第25回通常総会が終了した。

以上の議事記載事項が正確であることを証明します。

署名人 (株)環境管理センター 松尾 肇 
環境エンジニアリング(株) 大川 統一 

平成13年度 事業計画

環境の世紀とも言われております21世紀がスタート致しましたが、環境問題の原点は、我々の環境計量証明データからでありまして、大変重要な役割を担っているといえます。今後ますます多種類で極微量の分析が必要とされてくるものと考えられ、より一層の分析精度の確保、分析技術の向上が必要になってくるものと考えます。このような背景から、次のような事業を行い、会員各社の発展に寄与致したいと思っております。

1. 研修会・講演会等の実施

技術の習得や、知識の向上を図るため、研修見学会、講演会等を実施する。

2. ワーキンググループ・技術事例発表会の実施

技術委員会の下に、計量管理、クロスチェック等のワーキンググループ活動を行い、その研究成果を発表するとともに、会員による測定技術事例の発表会を実施する。

3. 共同実験とパネルディスカッションの実施

会員相互の技術レベルの向上を図るため、共通試料を用いたクロスチェックを行い、その結果を基に、パネルディスカッションを実施する。

4. 情報の収集と提供

官公庁、日環協、首都圏環協連等から関連情報の収集に努め、研修会、会誌等を通じて会員に提供する。

5. 経営問題懇談会

新任者教育、経営に関する勉強会等、開催する。

6. 協力関係

計量協会、日環協、首都圏環協連等の各事業に参画し、技術情報等を収集する。

7. 親睦関係

会員相互の親睦を深めるため、ソフトボール大会等の催しを行う。

2. 平成13年度 合同委員会 報告

日 時 平成13年5月15日(火)

場 所 プラザ菜の花

通常総会にて承認いただいた予算及び事業計画を各委員会毎に協議し、各委員長より活動方針、計画の発表があった。

当日は来賓として千葉県計量検定所 岡和雄指導課長、石渡康幸指導員が出席された。

挨拶

千葉県商工労働部

計量検定所 指導課長 岡 和雄



皆様方には、日ごろから県が行う計量行政の推進につきまして、御理解と御協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

最近の計量行政の動きとしては、平成13年4月1日独立行政法人『産業技術総合研究所法』及び『製品評価技術基盤機構法』が施行され、国が自ら主体となって直接に実施する必要のないもののうち、民間主体をゆだね効率的、効果的に行わせることとなりました。ただし独立法人の中でも国民生活または社会経済の安定に直接支障を及ぼすと認められるものには、役員及び職員に国家公務員の身分を与える『特定独立行政法人』という名称が明記され、これに2つの法人も該当することになりました。

県では、平成13年度を初年度とする「新世紀ちば5か年計画」を策定し、21世紀における千葉県の更なる発展の基礎づくりを進めるとともに、新世紀において県民一人一人の幸せづくりや、地域の自立と発展の実現を目指しております。

また県の計量行政では平成13年4月より、『高精度標準器等校正室』が完成し、今まで国が行っていた一級基準分銅の基準器検査を県で行う制度がスタートしました。またこの校正室で基準器と同等の分銅依頼検査も合わせて行うことができますので、ご利用下さるようお願い致します。

終わりに、環境計量協会のますますの御発展と会員の皆様方のより一層の活躍をお祈り申し上げましてご挨拶と致します。

平成 13 年度 合同委員会報告

担当委員一覧及び委員会別活動計画

1. 総務委員会

| | 氏 名 | 事 業 所 名 |
|-----|-------|--------------------------|
| 委員長 | 川村 敏 | キッコーマン(株) 分析センター |
| 委 員 | 北村 誠 | 出光興産(株) 中央研究所 |
| 〃 | 大川 統一 | 環境エンジニアリング(株) 君津支店 |
| 〃 | 宮本 敦夫 | 日本環境(株) 千葉支店 |
| 〃 | 石田 貞夫 | (財) 千葉県環境技術センター |
| 〃 | 川口 弘樹 | 中外テクノス(株) 環境技術センター |
| 〃 | 石澤 善博 | 日本軽金属(株) 船橋分析センター |
| 〃 | 入江 諒一 | 東電環境エンジニアリング(株) 環境技術センター |

| 予定月日 | 活動名 | 活 動 内 容 |
|-----------|----------------|----------------------------|
| 6 月 1 日 | 第 33 回ゴルフコンパ | 米原カントリークラブ, 優勝: 出光興産(株)遠藤氏 |
| 11 月 17 日 | 第 19 回フットボール大会 | 川崎製鉄(株) 健保グラウンド |
| 11 月中旬 | 第 32 回ゴルフコンパ | |
| 1 月 23 日 | 第 20 回新春講演会 | |

2. 業務委員会

| | 氏 名 | 事 業 所 名 |
|-----|-------|--------------------|
| 委員長 | 藤谷 光男 | 中外テクノス(株) 環境技術センター |
| 委 員 | 斉藤 充 | 日本廃水技研(株) 千葉支店 |
| 〃 | 松倉 達夫 | (株)日本公害管理センター |
| 〃 | 鈴木 信久 | 中外テクノス(株) 環境技術センター |
| | 吉原 武宏 | 月島機械株 |

| 予定月日 | 活動名 | 活 動 内 容 |
|----------|---------------|------------|
| 5 月 15 日 | 平成 13 年度合同委員会 | |
| 5~6 月 | 千環協ガイド発行 | 会員名簿確認 |
| 7~8 月 | | 原稿作成・配送先確認 |
| 9 月 | | 校正・印刷・製本 |
| 10 月 | | 千環協ガイド発送 |

3. 企画委員会

| | 氏 名 | 事 業 所 名 |
|-----|-------|-------------------|
| 委員長 | 荒牧 寿弘 | (株)新日化環境エンジニアリング |
| 委 員 | 伊藤 浩征 | (株)住化分析センター 千葉事業所 |
| 〃 | 中川 鞆臣 | 興亜開発(株) |
| 〃 | 岡崎 成美 | 出光興産(株) 千葉製油所 |

| 予定月日 | 活動名 | 活 動 内 容 |
|-----------|----------|-------------------------------------|
| 7 月 6 日 | 研修見学会 | 新日鐵サイクルセンター, 東京電力エネルギーパーク, ドイツ村 |
| 11 月 30 日 | PD&技術講演会 | PD: クロスチェック結果について 技術講演会: 委員会にて決定 |

4. 広報委員会

| | 氏名 | 事業所名 |
|-----|-------|--------------------|
| 委員長 | 田中 孝一 | (株)環境管理センター 東関東支社 |
| 委員 | 清水 隆行 | イカリ消毒(株) |
| 〃 | 結城 清崇 | ヨシザワ L A(株) |
| 〃 | 吉野 昭仁 | 習和産業(株) |
| | 熊田 博 | (株)クリタス |
| | 斉藤 健 | 中外テクノス(株) 環境技術センター |
| | 永田 耕一 | (株)環境管理センター 東関東支社 |

| 予定月日 | 活動名 | 活動内容 |
|---------------------|---------|---------------|
| 6月中旬 | 第1回編集会議 | 掲載記事の計画 |
| 7月中旬 | 第2回編集会議 | 掲載記事の取りまとめ・校正 |
| 7月下旬 | 会誌発行 | No61 印刷・発行 |
| 10月上旬 | 第3回編集会議 | 掲載記事の計画 |
| 11月中旬 | 第4回編集会議 | 掲載記事の取りまとめ・校正 |
| 12月下旬 | 会誌発行 | No62 印刷・発行 |
| 1月上旬 | 第5回編集会議 | 掲載記事の計画 |
| 2月中旬 | 第6回編集会議 | 掲載記事の取りまとめ・校正 |
| 3月下旬 | 会誌発行 | No63 印刷・発行 |
| 千環協ニュース発行部数 各号 336部 | | |

5. 技術委員会

| | 氏名 | 事業所名 |
|-----|-------|-------------------|
| 委員長 | 神野 基行 | (株)住化分析センター 千葉事業所 |

5-1. 精度管理ワーキンググループ

| | 氏名 | 事業所名 |
|--------------------------|---------|-------------------|
| リーダー | 松尾 肇 | (株)環境管理センター 東関東支社 |
| 委員 | 永友 康浩 | (株)環境コントロールセンター |
| 〃 | 飯島 公勇 | キッコーマン(株) 分析センター |
| 〃 | 浜田 康雄 | (株)上総環境調査センター |
| | 大塚 敬嗣 | (株)新日化環境エンジニアリング |
| | 松尾 真路 | (株)環境測定センター |
| 予定月日 | 活動名 | 活動内容 |
| 平成13年度活動テーマ：「精度管理統一化の推進」 | | |
| 平成13年度の活動内容：「精度管理手法の具体化」 | | |
| 6月中旬 | 第1回WG | 実施要領の決定，作業分担の決定 |
| 8月中旬 | 第2回WG | 調査結果まとめ，報告書の原案作成 |
| 9月中旬 | 第3回WG | 報告書の原案承認，報告書作成 |
| 11月9日 | WG成果発表会 | 調査結果の発表 |

5-2. 計量管理ワーキンググループ

| | 氏名 | 事業所名 |
|------|--------|-------------------|
| リーダー | 津上 昌平 | 習和産業(株) |
| 委員 | 木寺 弘親 | 出光興産(株) 中央研究所 |
| 〃 | 佐々木 昭平 | (株)杉田製線 |
| 〃 | 酒井 裕介 | 日建環境テクノス(株) |
| 〃 | 阿部 竜也 | 浅野工事(株) |
| 〃 | 荒木 徹 | セイコーアイ・テクノリサーチ(株) |

| 予定月日 | 活動名 | 活動内容 |
|--|-----------|-------------|
| 平成 13 年度活動テーマ：「計量証明事業者における 3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組み」 | | |
| 6月中旬 | 第1回WG | アンケート内容検討 |
| 7月上旬～ 下旬 | アンケート実施 | |
| 8月上旬～ 9月上旬 | アンケート結果集計 | |
| 8月上旬～ 9月上旬 | 事業所訪問調査 | 事業所2～3ヶ所を予定 |
| 10月 | 第2回WG | 発表結果まとめ |
| 11月9日 | 成果発表会 | 発表 |

5-3. クロスチェックワーキンググループ

| | 氏名 | 事業所名 |
|------|-------|-----------------|
| リーダー | 石川 秀 | (株)クリタス |
| 委員 | 片岡 正治 | 日立プラント建設サービス(株) |
| 〃 | 菅野 一也 | (株)住化分析センター |
| 〃 | 田中 裕治 | 中外テクノス(株) |
| 〃 | 大野 節夫 | 日産産業(株) |

| 予定月日 | 活動名 | 活動内容 |
|--|-------|-------------|
| 平成 13 年度活動テーマ：「水中のセレン」についてクロスチェックを行う。 全会員事業所に実施要領を配布し、参加希望のあった事業所に共通測定試料（セレン：濃度範囲 0.01～0.1mg/l）を配布して、分析した結果を提出してもらい、測定データを解析する。 | | |
| 6月上旬 | 第1回WG | クロスチェック実施案内 |
| 7月中旬 | 第2回WG | 試料調整・発送 |
| 8月中旬 | | 測定結果収集 |
| 9月上旬 | 第3回WG | 測定結果解析・報告書 |
| 11月9日 | 成果発表会 | 発表 |

6. 経営問題懇談会 調査開発ワーキンググループ

| | 氏名 | 事業所名 |
|--------------|-------|-------------------|
| 委員長 | 菅谷 光夫 | (株)ダイワ |
| 教育 WG リーダー | 岡野 隆志 | 川鉄テクノリサーチ(株) |
| 調査開発 WG リーダー | 庄司 一雄 | 住友金属鉱山(株) |
| 委員 | 名取 昭平 | セイコーアイ・テクノリサーチ(株) |

| 予定月日 | 活動名 | 活動内容 |
|-------|-------|--|
| 7月19日 | 新任者研修 | 講師：北村氏（日環協），津上氏（習和産業(株)），岡野氏（川鉄テクノリサーチ(株)） |
| 9月下旬 | 施設見学 | 事業所訪問：東葛テクノプラザ見学 |

3. 理事会報告

第140回

日時 平成13年5月15日 10:00～12:00
場所 プラザ菜の花
出席者 名取会長、岡崎副会長、菅谷副会長、荒牧理事、川村理事、神野理事、藤谷理事、田中理事

1. 特別議案

- (1) 日環協環境セミナー in Kamogawa の進捗状況について
- (2) 平成12年度事業報告及び平成13年度事業計画(案)について

2. 報告事項

- 2-1. 日環協 第85回 理事会(平成13年4月25日 銀座ラナフィート)
出席者 名取
 - (1) 平成12年度事業報告及び平成13年度事業計画
 - (2) 役員改選 各支部推薦
 - (3) 会館建設に関して等
- 2-2. 第17回 千葉県計量協会 理事会(平成13年4月19日 プラザ菜の花)
出席者 名取、岡崎、菅谷
 - (1) 第25回 通常総会の議案検討
- 2-3. 第1回 首都圏環境協議会連絡会(平成13年4月18日 ワークスサポートセンター)
出席者 名取、岡崎、菅谷、藤谷、田中
 - (1) 各県単報告等

第141回

日時 平成13年7月13日 16:00～17:00
場所 船場
出席者 名取会長、岡崎副会長、菅谷副会長、荒牧理事、川村理事、神野理事、藤谷理事、田中理事、福田監事

1. 報告事項

- (1) 日環協環境セミナー in Kamogawa の進捗状況について

2. 報告事項

- 2-1. 日環協 関東支部役員会(平成13年5月25日 タイヤメントホテル)
出席者 名取、岡崎
 - (1) 平成12年度事業報告(案)及び平成13年度事業計画(案)
 - (2) 関東支部セミナー進捗について
 - (3) 新任者教育
- 2-2. 日環協 第28回通常総会(平成13年5月25日 タイヤメントホテル)
出席者 名取、岡崎、永山
 - (1) 平成12年度事業報告(案)及び平成13年度事業計画(案)の承認
 - (2) 役員改選について
 - (3) 会館建設に関して
 - (4) 優良事業所表彰
 - (5) 講演会
「計量制度の改正の方向性」
講師：経済産業省産業技術環境局 臨時計量制度改正室
室長 長谷川 直之氏
- 2-3. 千葉県計量協会 第25回 通常総会(平成13年6月19日 ホートプラザちば)
出席者 名取、岡崎、菅谷
 - (1) 平成12年度事業報告及び平成13年度事業計画
 - (2) 会費規約の一部改正について
- 2-4. 第1回 首都圏環境協議会連絡会(平成13年6月22日 ワークスサポートセンター)
出席者 名取、岡崎、菅谷、藤谷、田中
 - (1) 各県単報告等
 - (2) 会計報告

4. 第33回 千環協ゴルフコンペ

数々の名勝負（迷勝負？）を生んできた伝統ある千環協ゴルフコンペ。第33回大会は6月1日、米原カントリークラブにて行われました。今回は大会史上初(!!)の女性参加（株東海地質 初瀬川さん）ということもあり、21世紀最初を飾るにふさわしい気持ちの良い晴天の中、華やいだ雰囲気の中で開催され、名取会長、埼環協：伊藤会長はじめ総勢19名が、それぞれ優勝杯目指してスタートしました。

接戦の末、出光興産(株)：遠藤さんが、初出場、初優勝の快挙を成し遂げ、栄光の優勝杯を獲得しました。

| Rank | Name | Out | In | Gross | Hcp | Net |
|------|---------------------|-----|----|-------|------|------|
| 優勝 | 遠藤 正和（出光興産(株)） | 45 | 54 | 99 | 25.2 | 73.8 |
| 準優勝 | 守 久雄（環境エンジニアリング(株)） | 44 | 44 | 88 | 13.2 | 74.8 |
| 3位 | 石澤 善博（日本軽金属(株)） | 46 | 49 | 95 | 19.2 | 75.8 |
| 4位 | 神野 基行（株住化分析センター） | 50 | 48 | 98 | 21.6 | 76.4 |
| 5位 | 中川 二郎（株クリタス） | 47 | 53 | 100 | 22.8 | 77.2 |

— 「大変な事をしでかしました…」 —

出光興産 株式会社

千葉製油所 品質管理課

遠藤 正和

21世紀最初の千環協ゴルフコンペで優勝させていただきました。優勝が判った時は大変な事をしでかしたとの思いで一杯でした。家へ帰って我が女房殿に結果報告（我が家では必ず結果報告がある）をする頃から嬉しさがこみ上げてきました。鼻高々で説明させていただきました。なにせ長いゴルフキャリアの中で初めての「優勝」ですから。

今回の優勝は勿論、「運」と一緒に回った石澤さん、松倉さん、荒牧さんのおかげと感謝しております。この場をかりましてあらためてお礼申し上げます。これからも機会があれば千環協のコンペに参加させていただきたいと思っております。最後に、優勝カップのレプリカは毎日見えるようにテレビの上に鎮座させました。みなさま本当にありがとうございました。



33回コンペに参加した精鋭19名



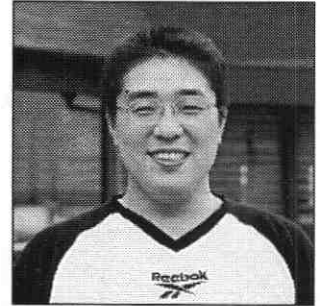
“大変な事をしでかした”(?)遠藤氏

5. 平成 13 年度 研修見学会

第25回 千環協研修見学会 —千環協研修見学会を終えて—

習和産業 株式会社

谷口 克則



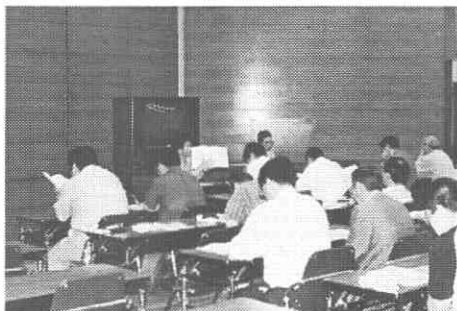
去る7月6日、千環協の研修見学会が行われました。今年の梅雨はどこに行ってしまったのだろうと思われるような晴天の中、まず、新日本製鐵(株)君津製鐵所に行きました。1,020万㎡という広大な敷地に驚き、工場内の交差点に信号機が有る事にさらに驚きました。この製鐵所で実施しているコークス炉を利用したプラスチックリサイクルの概要をビデオで学習し、またリサイクル工程の前半部分を実際に見学させて頂きました。プラスチックといえば焼却できず埋め立てるもの。リサイクルというとPETボトルくらいしか思い浮かばなかった私ですが、そのような考えは、「もう古い!」と思わせてくれる素晴らしいシステムでした。

ポリエチレン、ポリスチレン、ポリ塩化ビニルなど、ほとんどのプラスチック類が、1,200℃の高温によって原材料である炭化水素油と発電所で利用できる燃料ガス(コークス炉ガス)に分解されリサイクルされます。普通、プラスチックの燃焼時にはPCB(s)が発生しますが、無酸素状態で熱をかけるので、それも発生しないとのことでした。なんと地球にやさしいリサイクルなのでしょうか。このような施設を早急に、全国に充実させて欲しいと思います。

次に、東京電力富津火力発電所に隣接している新エネルギーパークに行きました。二枚羽では日本最大級の高さ30m、翼30mの風力発電装置が大きな風切り音を立てて動いている風景は、まさに「圧巻!」の一言でした。自然の恵みである太陽光、風と電気の関係が良く理解できたテーマパークでした。時間が十分にとれず、すべての部屋を体験することができませんでした。半日くらいかけてじっくりと見学したいものです。

昼食は、東京ドイツ村でバーベキューでした。少しお酒も入り、千環協の会員の皆さんとの交流も深まりとても楽しい一時を過ごすことができました。このドイツ村は、今年3月にオープンしたばかりで、芝生の緑と色とりどりの花壇が印象的でした。ドイツビールのあの喉越しと、手作りソーセージを食べに行くだけでも価値があると思いました。(聞いた話では、手作りパンもなかなか美味しいとのことでした。)

最後に、このような研修見学会を企画して頂いた関係者の方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。



新日本製鐵(株)にて説明を受ける参加者



ドイツ村にて記念撮影

6. 平成13年度 新任者教育講座（平成13年7月19日） 平成13年度新任者教育講座を受講して

株式会社 環境管理センター
分析グループ 伊藤 梓美

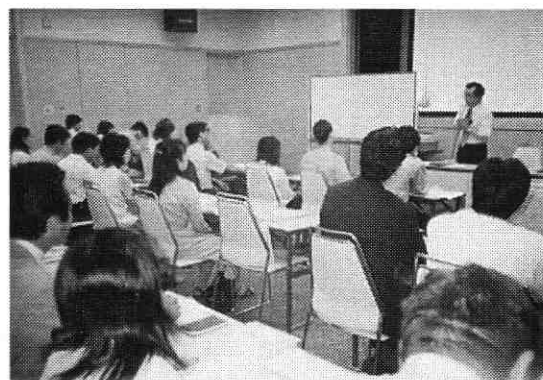
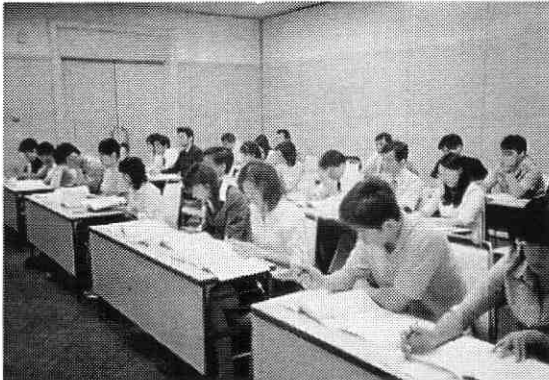


入社し、3ヶ月が過ぎました。職場にも慣れ始め、入社当初の糸がぴんとはったような緊張感も緩み始めていました。そんなとき、この講座を受講することができ、様々なことを見直すよいきっかけとなりました。

最近では、日々のルーチンワークに追われ、環境計量の仕事の意味など考える余裕もなくなっていたので、ここで少し手を休め、ベテランの大先輩の考えを聞いた事はとても貴重な体験となりました。安全衛生の話もこの時期にはもってこいで、この講座を受講するほんの2日前に、自分もガラス器具で手をぐさりとやっけてしまい、ちょっとした油断や思いがけないところで事故は起こるのだと改めて痛感しました。また、日々の業務で使用する薬品や金属類の危険性を慣れてくると感じなくなってしまうがちですが、ここで中毒症状などをもう1度見直すことができました。やはり、マスクや手袋をしっかりと利用し自分の身は自分で守らなければなりません。他にも測定技術の基本の見直しや様々な資格の情報など盛りだくさんで、これからもこの講座のテキストが大いに役立ちそうです。

この講座を受講したことで、ゆるみ始めた糸をもう1度張り直すことができましたように思います。

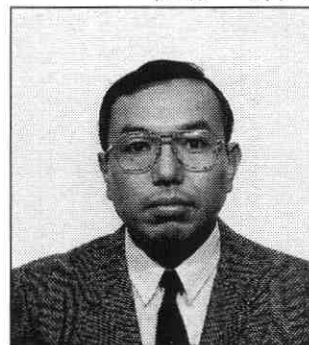
色々な貴重なお話をしてくださった講師の方々に心より感謝致します。



7. 土壤環境基準及び水質汚濁防止法における排水基準が改正されました

中外テクノス 株式会社

後藤 壽久



1. 環境省告示第 16 号（平成 13 年 3 月 28 日付）により、平成 8 年環境庁告示第 46 号（土壤の汚染に係る環境基準について）が改正され、土壤環境基準（地下水への溶出基準）にふっ素及びほう素が追加されました。

（経緯）

平成 11 年 7 月に環境庁長官から諮問され、中央環境審議会の土壤農薬部会で検討を行ってきたもので、平成 12 年 2 月 26 日に、中央環境審議会から水質浄化、地下水かん養機能の保全の観点から土壤環境基準にふっ素及びほう素を追加することについての答申を受けたことから、同答申に沿って、改正されたものです。

2. 環境省告示第 20 号及び第 21 号（いずれも平成 13 年 6 月 13 日付）により、水質汚濁防止法施行規則及び排水基準が改正され、「ほう素及びその化合物」、「ふっ素及びその化合物」及び「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物」の環境基準及び排水基準が追加されました。

（経緯）

平成 11 年 2 月 22 日、「水質汚濁に係る環境基準について」（昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号）が改正され、人の健康の保護に関する環境基準としてほう素、ふっ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準に追加設定されました。

これを受け、水質汚濁防止法に基づく排出水の排出、地下浸透水の浸透等の規制に係る項目追加等について、平成 12 年 12 月 14 日に、中央環境審議会から答申を受けたことから、同答申に沿って、水質汚濁防止法施行令の一部が改正されたものです。

3. 政令第 213 号（平成 13 年 6 月 22 日付）により、下水道法施行令の一部が改正され、「ふっ素及びその化合物」、「アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素」の含有基準が設定されました。

改正内容を下表にそれぞれ、まとめましたので参考にいただければ幸いです。詳細内容については、官報にてご確認ください。

(1) 土壤環境基準（環境省告示第 16 号関係 別表）

施行期日：平成 13 年 3 月 28 日（公布日施行）

| 項目 | 環境上の条件 | 測定方法 |
|-----|--------------------------|--|
| ふっ素 | 検液 1L につき 0.8mg 以下であること。 | JIS K 0102 34.1 に定める方法又は昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 6 に掲げる方法 |
| ほう素 | 検液 1L につき 1mg 以下であること。 | JIS K 0102 47.1 若しくは 47.3 に定める方法又は昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 7 に掲げる方法 |

備考

- 環境上の条件については付表 4（省略）に示す方法で検液を作成し、これを用いて測定を行う。
- 環境上の条件については、汚染土壌が地下水水面から離れており、かつ、現状において当該地下水中のこれらの物質の濃度が地下水 1L につきふっ素にあっては 0.8mg、ほう素にあっては 1mg を超えていない場合には、それぞれ検液 1L につき 2.4mg、3mg とする。

(2) 水質汚濁防止法改正による基準（環境省告示第 20 号及び第 21 号関係）

施行期日：平成 13 年 7 月 1 日

| 項目 | 環境基準 | 排水基準 |
|-------------------------------|-------------------------------|--|
| ほう素及びその化合物 | 1L につきほう素 1mg | 海域以外の公共用水域に排出されるもの 1L につきほう素 10mg |
| | | 海域に排出されるもの 1L につきほう素 230mg |
| ふっ素及びその化合物 | 1L につきふっ素 8mg | 海域以外の公共用水域に排出されるもの 1L につきふっ素 8mg |
| | | 海域に排出されるもの 1L につきふっ素 5mg |
| アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 | 1L につき、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量 10mg | 1L につきアンモニア性窒素に 0.4 を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量 100mg |

(3) 水質汚濁防止法改正による検定方法（環境庁告示第 39 号の一部改正による）

施行期日：平成 13 年 7 月 1 日

| 項目 | 検定方法 | |
|-------------------------------|--|---|
| ほう素及びその化合物 | JIS K 0102 47 に定める方法又は環境庁告示付表 7 に掲げる方法 | |
| ふっ素及びその化合物 | JIS K 0102 34 に定める方法又は JIS K 0102 34.1C)（注 ⁽⁶⁾ ）第 3 文を除く。）に定める方法及び環境基準告示付表 6 に掲げる方法 | |
| アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 | アンモニア又はアンモニウム化合物 | JIS K 0102 42.2、42.3 又は 42.5 に定める方法により検定されたアンモニウムイオンの濃度に換算係数 0.7766 を乗じてアンモニア性窒素の量を検出する方法 |
| | 亜硝酸化合物 | JIS K 0102 43.1 に定める方法により検出された亜硝酸イオンの濃度に換算係数 0.3045 を乗じて亜硝酸性窒素の量を検出する方法 |
| | 硝酸化合物 | JIS K 0102 43.2.5 に定める方法により検出された硝酸イオンの濃度に換算係数 0.2259 を乗じて硝酸性窒素の量を検出する方法 |

(4) 下水道法施行令の一部が改正による基準値（政令第 213 号）

施行期日：平成 13 年 7 月 1 日

| | 公共用水域に接続する公共用下水道 | 海域に接続する公共用下水道 |
|---------------------------|----------------------------|-----------------------|
| ほう素及びその化合物 | 1L につき 10mg 以下であること。 | 1L につき 230mg 以下であること。 |
| ふっ素及びその化合物 | 1L につき 8mg 以下であること。 | 1L につき 15mg 以下であること。 |
| アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素（注） | 1L につき 380mg 以下又は 125mg 以下 | |

（注）工場排水が 1/4 未満の下水道へ下水を排除する場合は 380mg/L 以下、工場排水が 1/4 以上の下水道へ下水を排除する場合は 125mg/L 以下。

| 会 員 名 | 連 絡 場 所 | 連絡担当者 | 事 業 区 分 | | | | | 備 考 |
|--|--|-----------------|---------|---|---|---|-----|--------------|
| | | | 濃 度 | | | 証 | 種 別 | |
| | | | 燧 | 煩 | 塊 | | | |
| セイコーアイ・テクノリサーチ(株) 代表取締役社長 名取 昭平 | 松戸市高塚新田 563 〒270-2222 TEL 047-391-2298 FAX 047-392-3238 | 取締役部長 安田 和久 | ○ | ○ | ○ | | | 会 長 |
| (株) 総合環境分析研究所 代表取締役 高野 俊之 | 松戸市樋野口 616 〒271-0067 TEL 047-363-4985 FAX 047-363-4985 | 代表取締役 高野 俊之 | ○ | ○ | ○ | | | |
| (株) 太平洋コンサルタント 研究センター 代表取締役社長 石崎 寛治郎 | 佐倉市大作 2-4-2 〒285-8655 TEL 043-498-3912 FAX 043-498-3919 | 業務部長 畑堀 尚生 | ○ | ○ | ○ | | | |
| (株) ダ イ ワ 千葉支店 取締役支店長 菅谷 光夫 | 東金市家徳 238-3 〒283-0062 TEL 0475-58-5221 FAX 0475-58-5415 | 支店長 菅谷 光夫 | ○ | ○ | ○ | ※ | ※ | 副会長 |
| 妙 中 鉱 業 (株) 総合分析センター 代表取締役社長 妙中 寛治 | 茂原市大芝 452 〒297-0033 TEL 0475-24-0140 FAX 0475-23-6405 | 室 長 金井 弘和 | ○ | ○ | ○ | | | |
| (有) チ ッ ソ ケ ミ テ ッ ク 代表取締役 夏目 英夫 | 市原市五井海岸 5-1 〒290-0058 TEL 0436-23-7120 FAX 0436-23-7140 | 管理部課長 渡辺 勝 | | ○ | ○ | | | |
| (財) 千葉県環境技術センター 理 事 長 塚 田 昭 夫 | 市原市五井南海岸 3 〒290-0045 TEL 0436-23-2618 FAX 0436-23-2619 | 石 田 貞 夫 | | ○ | ○ | | | |
| (社) 千葉県浄化槽協会 理 事 長 石 川 長 | 千葉市中央区中央港 1-11-1 〒260-0024 TEL 043-246-2355 FAX 043-248-6524 | 水質検査室長 鈴木 幸治 | | ○ | | | | |
| 中 外 テ ク ノ ス (株) 環境技術センター 所 長 鈴 木 紀 雄 | 千葉市緑区大野台 2-2-16 〒267-0056 TEL 043-295-1101 FAX 043-295-1110 | 営業課 鈴木 信久 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 理 事 (業 務) |
| 月 島 機 械 (株) 代表取締役社長 田原 龍二 | 市川市塩浜 1-12 〒272-0127 TEL 047-359-1653 FAX 047-359-1663 | 試験課 須山 英敏 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 東 エ ン (株) 代表取締役社長 渡辺 孝雄 | 東京都文京区湯島 3-1-3MHビル 〒113-0034 TEL 03-3834-7460 FAX 03-3834-7112 | 環境技術課長 鈴木 倫二 | ○ | ○ | | ※ | ※ | |
| (株) 東京化学分析センター 代表取締役社長 森本 薫子 | 市原市玉前西 2-1-52 〒290-0044 TEL 0436-21-1441 FAX 0436-21-5999 | 技術営業部長 川岸 決男 | ○ | ○ | ○ | | | |

※：県外事業所登録

| 会 員 名 | 連 絡 場 所 | 連絡担当者 | 事 業 区 分 | | | | | 備 考 |
|---|--|------------------------|---------|---|---|---|-----|-----|
| | | | 濃 度 | | | 証 | 種 別 | |
| | | | 燐 | 硝 | 窒 | | | |
| 東 京 公 害 防 止 (株) 代表取締役社長 小野 次男 | 東京都千代田区神田 和泉町 1-8-12 〒101-0024 TEL 03-3851-1923 FAX 03-3851-1928 | 代表取締役社長 小野 次男 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 東電環境エンジニアリング(株) 環境技術センター 取締役所長 西川 信行 | 千葉県緑区大野台 2-3-6 〒267-0056 TEL 043-295-8410 FAX 043-295-8407 | 管理部長 入江 諒一 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 東 洋 テ ク ノ (株) 環境分析センター 代表取締役社長 久保田 隆 | 山武郡松尾町田越 328-1 〒289-1516 TEL 0479-86-6636 FAX 0479-86-6624 | 代表取締役社長 久保田 隆 | ○ | ○ | ○ | | | |
| (株)永山環境科学研究所 代表取締役社長 永山 瑞男 | 鎌ヶ谷市南初富 1-8-36 〒273-0123 TEL 0474-45-7277 FAX 0474-45-7280 | 松岸 政英 時田 秀和 矢野 茂 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| (株)西日本環境技術センター 東京事業所 代表取締役 今井 貞美 | 市川市中国分 3-18-5 〒272-0835 TEL 047-372-1110 FAX 047-371-3405 | 三谷 広美 | | ○ | ○ | | | |
| ニ ッ カ ウ 中 ス キ ー (株) 生産技術研究所 分析センター 所長 安村 弘人 | 柏市増尾字松山 967 〒277-0033 TEL 0471-72-5472 FAX 0471-75-0290 | 安村 弘人 | | ○ | ○ | | | |
| 日 建 環 境 テ ク ノ ス (株) 代表取締役 山田 勝芳 | 船橋市山手 1-1-1 〒273-0045 TEL 0474-35-5061 FAX 0474-35-5062 | 釜本 信弘 | | ○ | | | | 監 事 |
| 日 廣 産 業 (株) 環境技術センター 代表取締役 野々山剛史 | 千葉県中央区川崎町 1 川崎製鉄(株)千葉製鉄所内 〒260-0835 TEL 043-266-8055 FAX 043-262-4340 | 大野 節夫 | | ○ | | | | |
| 日 本 環 境 (株) 千葉支店 支店長 金子 正昭 | 市川市田尻 3-4-1 〒272-0014 TEL 047-370-2561 FAX 047-370-3050 | 宮本 敦夫 | ○ | ○ | ○ | ※ | ※ | |
| 日 本 軽 金 属 (株) 船橋分析センター センター長 坂巻 博 | 船橋市習志野 4-12-2 〒274-0071 TEL 0474-77-7646 FAX 0474-78-2437 | 坂巻 博 | ○ | ○ | ○ | | | |
| (株)日本公害管理センター 千葉支店 支店長 松倉 達夫 | 成田市東和田 348-1 〒286-0134 TEL 0476-24-3438 FAX 0476-24-2096 | 山田 幸男 | ※ | ※ | ※ | ○ | ○ | |
| (株)日本工業用水協会 水質分析センター 所長 川島 範男 | 市川市南八幡 2-23-1 〒272-0023 TEL 047-378-4560 FAX 047-378-4573 | 副所長 大塚 弘之 | | ○ | ○ | | | |

※：県外事業所登録

| 会 員 名 | 連 絡 場 所 | 連絡担当者 | 事 業 区 分 | | | | | 備 考 |
|---|--|--------------------|---------|---|---|---|-----|-----|
| | | | 濃 度 | | | 証 | 種 別 | |
| | | | 燐 | 硝 | 窒 | | | |
| 日 本 廃 水 技 研 (株) 千葉支店 代表取締役社長 荒西寿美男 | 市川市相之川 2-1-21 〒 272-0143 TEL 047-358-6016 FAX 047-357-6936 | 斎藤 充 | ○ | ○ | | | | |
| (財)日本品質保証機構 環境計画センター千葉分析試験所 所 長 浅田 正三 | 千葉市中央区出洲 14-12 〒 260-0023 TEL 043-247-5160 FAX 043-247-5149 | 所 長 浅田 正三 | ○ | ○ | ○ | | | |
| (財)日本分析センター 会 長 平尾 泰男 | 千葉市稲毛区山王町 295-3 〒 263-0002 TEL 043-424-8662 FAX 043-424-8660 | 業務課 津田 義裕 | ○ | ○ | ○ | | | |
| (株) 東 関 東 代表取締役 浅井 武彦 | 東京都荒川区東日暮里 5-7-18 コスモパークビル 2 F 〒 116-0014 TEL 03-3805-7920 FAX 03-3805-7902 | 調査設計部 森田 浩 | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| 日立プラント建設サービス(株) 環境技術センタ センタ長 片岡 正治 | 松戸市上本郷 537 〒 271-0064 TEL 047-365-3840 FAX 047-367-6921 | 環境技術 センタ長 片岡 正治 | | ○ | ○ | | | |
| (株)三井化学分析センター 取締役 市原分析部長 堀内 正人 | 市原市千種海岸 3 〒 299-0108 TEL 0436-62-9490 FAX 0436-62-8294 | 安村 則美 | ○ | ○ | ○ | | | |
| (株)三井化学分析センター 茂原分析部長 堀内 正人 | 茂原市東郷 1900 〒 297-8666 TEL 0475-22-2727 FAX 0475-22-2727 | 松崎 勝雄 | ○ | ○ | ○ | | | |
| (有) ユーベック 代表取締役社長 飯塚 嘉久 | 木更津市久津間 613 〒 292-0004 TEL 0438-41-7878 FAX 0438-41-7878 | 代表取締役社長 飯塚 嘉久 | ○ | ○ | ○ | | | |
| ヨシザワ L A (株) 環境分析センター 代表取締役社長 原 功 | 柏市新十余二 17-1 〒 277-0804 TEL 0471-31-4122 FAX 0471-31-0506 | 小川原正夫 | | ○ | ○ | | | |
| ライト工業(株) 技術研究所 所 長 半田 斌 | 船橋市習志野 4-15-6 〒 274-0071 TEL 047-464-3611 FAX 047-464-3613 | 飯尾 正俊 | | ○ | ○ | | | |

[賛助会員]

| | | | | | | | | |
|--|--|-------|---|---|---|---|---|--|
| (株) 東 海 地 質 代表取締役 初瀬川重雄 | 千葉市若葉区都賀 2-3-7 〒 264-0025 TEL 043-234-3611 FAX 043-234-3612 | 初瀬川弘美 | | | | | | |
| 東京テクニカル・サービス(株) 東京支店・分析センター 代表取締役 吉池 詠 | 東京都江戸川区中葛西6-7-6 〒 134-0083 TEL 03-3688-3284 FAX 03-3877-5388 | 農作清次郎 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | |

※：県外事業所登録

会員名簿の記載事項に変更がございましたら、都度、下記書式にて、千環協事務局宛ファックス願います。

Fax通信

Fax: 043-265-2412

千環協:事務局御中

(株)環境管理センター 東関東支社内)

会員名簿記載事項変更連絡

会員名： _____

担当者： _____

今般、記載事項に変更がありましたので下記の通り連絡致します。

| 変更実施 | | 年 月 日より | |
|-------|-----|-----------------|-----|
| 項 目 | | 変更 (変更項目のみ記載で可) | 備 考 |
| 会員名 | 社名 | | |
| | 代表者 | | |
| 連絡場所 | 住所 | | |
| | TEL | | |
| | FAX | | |
| 連絡担当者 | | | |
| 事業区分 | | | |

※ 備考：備考欄には、差し支えない範囲内で変更事由を記載下さい。

〔事務局処理〕

| 受付日 | 年 月 日 | | 受付No. |
|-----------|--------|-----------------------|-------|
| FAX 連絡 | 会 長 宛 | 理事会への報告： 年 月予定 | |
| | 広報委員長宛 | ニュース 年 月 (No. 号) 変更予定 | |

— 編集後記 —

暑中お見舞い申し上げます。

今年は、盛夏の言葉がよく似合う、夏らしい日々が続いておりますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか？千環協ニュース61号をお届け致します。

今回、特集で組みました“環境基準項目の追加”に加え、“計量法の改正”等、環境計量を取りまく動きは、環境計量の重要性が増すと共にさらに激しくなっています。

一方、千環協としまして平成13年度の事業計画、各委員会の活動計画が決定し、本号に掲載した3つの活動レポートにもありますように、“親睦”に（ゴルフ），“技術研鑽”に（研修見学会，新任者研修）と活発な活動をスタートし、環境計量に対する信頼に応えうる活発な協会活動を押し進めております。

広報委員会としまして、会誌発行によって、協会活動をはじめ、様々な環境情報の発信を行っていきたいと思いますので、今後も、引き続き、担当理事をはじめ、会員の皆様方にはより深い御協力をお願い申し上げます。

| | | |
|-------|-------|-------------|
| 広報委員長 | 田中 孝一 | (株)環境管理センター |
| 委員 | 清水 隆行 | イカリ消毒(株) |
| | 吉野 昭仁 | 習和産業(株) |
| | 結城 清崇 | ヨシザワL A(株) |
| | 熊田 博 | (株)クリタス |
| | 斉藤 健 | 中外テクノス(株) |
| | 永田 耕一 | (株)環境管理センター |

千環協ニュース第61号

平成13年7月31日

発行 千葉県環境計量協会

〒260-0833 千葉市中央区稲荷町3-4-17番地

(株)環境管理センター内

TEL (043)261-1100

印刷 有限会社 千葉写真商会

〒260-0842 千葉市中央区南町3-12-7

TEL (043)265-1955

Fax (043)263-4323

